

平成22年度日本小児外科学会  
第2回定例理事会議事録

日 時：平成22年7月23日（金） 11:00～17:00

会 場：日本外科学会会議室

出席者：岩中 督（理事長）、田口智章（副理事長）、土岐 彰（理事・会長）、  
上野 滋（理事・副会長）、橋本 俊、葦澤融司、前田貢作（以上理事）、  
金子道夫（以上監事）、吉澤穰治（財務会計委員長）、小室広昭（庶務委員長）、  
越永従道（財務会計副委員長）、金森 豊（庶務副委員長）、鈴木淳一（庶務委員）、  
佐々木真紀、村上 聡（以上事務局）

欠席者：濱田吉則（理事）、伊川廣道（監事）

議 事：

- 1、岩中理事長より、新庶務委員の紹介がなされ、挨拶があった。
- 3、第2回定例理事会の議事録署名人は、橋本 俊理事、前田貢作理事とした。
- 4、平成21年度第8回および平成22年度第1回定例理事会議事録が承認された。
- 5、報告事項

1) 第47回学術集会の報告

橋本前会長より以下の報告があり、了承された。

6月17日（木）～19日（土）に愛知県産業労働センター（WINCあいち）にて、Share Smiles with Sick Children, Dreams and Innovation for Pediatric Surgeryをテーマに開催した。

参加者は906名で、うち有料参加者は825名であった。また、演題総数は558題であり、発表総数は557題であった。会期中は大変有意義で活発な議論が行われた。

ポスターセッションを重視し、ポスターの配置を工夫するなどした。また、ポスターシンポジウムではPCプレゼンテーションを併用しディスカッションを行った。

また、日本医師会生涯教育単位取得可能なセミナーを外来小児研究会との共催として開催し、21名の参加者を得た。その他、看護師を対象としたサテライトセミナーを開催し、136名の参加者を得て活発な議論が行われた。市民公開講座を最終日に参加者は322名（内7名関係者）の市民の参加を得た。

2) 外科関連学会協議会からの日本医師会からの回答

岩中理事長より外科関連協議会から、日本医師会への勤務医の処遇の適正化を求める提言を提出したところ回答があったとの通知があったことが報告された。

3) 理事長報告

岩中理事長より報告があり、以下のように了承された。

- (1) 日本製薬工業協会より「製薬協ニューズレターNo.131」を受領した。
- (1) 日本外科学会からの寄贈本「Surgery Today Vol.40 No.6」を受領した。
- (2) 産調出版株式会社からの講評依頼「ホリスティックメディスンとしての酸塩基平衡」を受領した。

- (3) 日本小児看護学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (4) 東京医科歯科大学難治疾患研究所からの寄贈本「Annual Report 2010」を受領した。
- (5) 厚生労働省からの通信文「医薬品・医療機器等安全性情報 No. 270」を受領した。
- (6) 日本消化管学会からの通信文「研修単位認定に関するお願い」を受領した。  
認定単位として学術集会参加を認めていただきたいとの要望があったことが報告され、保留とすることとなった。  
また、専門医制度委員会に認定単位として認める学術集会の基準について検討するよう諮問することとなった。
- (7) 日本内科学会からの寄贈本「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業これまでの総括と今後に向けての提言」と「診療行為に関連した死亡の調査分析モデル事業平成21年度事業報告書」を受領した。
- (8) 日本専門医制評価・認定機構からの寄贈本「日本専門医制評価・認定機構ニュースNo. 4」を受領した。
- (9) 日本医療安全調査機構からの通信文「診療行為に関連した調査分析モデル事業に対する関係学会の協力について（依頼）」を受領した  
受領した担当者のリストが古いとの指摘があり、正しいリストを確認するとともに、新しい担当者について倫理・安全委員会で検討することとなった。
- (10) 日本医療機能評価機構からの「2010年度 ニュースレター 第2号」を受領した。
- (11) 日本救急医学会からの「小児救急初期診療コース開発に関する協力のおお願い」を受領した。  
検討の結果、小児救急検討委員会から米倉竹夫委員長を派遣することとなった。  
また、活動費の経費負担については旅費程度であれば負担可能として回答することとなった。
- (12) 日本医師会女性医師バンクからの「平成22年度女子医学生・研修医等をサポートするための会の開催について（依頼）」を受領した。  
協議の結果、ホームページで通知することとなった。
- (13) 日本外科学会からの寄贈本「Surgery Today Vol. 40 No. 7」を受領した。
- (14) 製薬協からの寄贈本「製薬協ニュースレターNo. 138」を受領した。
- (15) 科学技術振興機構からの「予稿集全文データベースの新規提供機関のご案内と利用許諾のご依頼について」を受領した。  
編集委員会に一任することとなった。
- (16) 日本医学図書館協会からの「会長交代ならびに役員就任のご挨拶」を受領した。

## 6、審議事項

### 1) 第48回学術集会について

土岐会長より、以下の報告があり了承された。

- ・特別講演を以下の通り企画している。

#### 1) アグネス・チャン（ユニセフ大使）

- 2) Prof. Hiroyuki Shimada (Children's Hospital Los Angels)
- 3) Prof. Jiin-Haur Chuang (Chang Gung Univ. 台湾)
- ・第47回学術集会に続き、看護師のためのサテライトセミナーを実施予定である。
- ・教育講演として以下の通り企画している。
  - 1) 出生前診断 (仮) …岡井 崇
  - 2) 超低体重児の栄養 (仮) …板橋家頭夫
  - 3) 咀嚼・嚥下機能 (仮) …向井 美恵
- ・特別企画として「先達に聞く；小児外科栄養の歴史」を予定している。
- ・小児救急検討委員会による小児救急セミナーを開催する予定である。

## 2) 第49回学術集会について

上野副会長より、以下の報告があり了承された。

- ・会期：平成24年5月14日（月）～7月16日（水）  
（5月13日（日）：理事会・評議員会）
- ・会場：パシフィコ横浜「Annex ホール」（神奈川県）
- ・プログラムなどについては企画中である。

## 3) 庶務委員会報告

小室庶務委員長より報告があり、以下のように了承された。

会員動向について、平成22年6月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,832名（うち海外6名）、評議員303名、名誉会員53名（うち海外9名）、特別会員59名（うち海外1名）の計2,247名である、との報告がなされ、併せて新入会者リスト、退会者リストが回覧され承認された。

また、過去10年間の会員動向について、毎年度3月末時の実績で比較することとなった。

## 4) 財務会計委員会報告

吉澤委員長より報告があり、以下のように報告された。

- ・昨年度の旅費支給について準備している。
- ・ホームページの移転が7月中に完了予定であり、以後のホームページ管理料の減額が見込まれる。
- ・10年間の経年的財務状況について資料が提示され、会費収入が漸減し、また2007年度から抄録号の広告収入が学術集會会長収入となったことなどから、収入が激減し支出が増加していることなどから赤字体質が改善されていないことなどが説明され、引き続き検討されることとなった。
- ・学会期間中の学会主催セミナー経費について内規案が提示され、学術集會のあり方、セミナーのあり方についても検討すべきとの指摘があった。

## 5) 各種委員会報告および審議事項

#### (1) 機関誌委員会報告

上野担当理事より、以下の通り報告された。

- ・平成21年度第3回機関誌委員会を開催した。
- ・第1回利益相反小委員会が開催され、編集委員長、委員が出席した。現状は機関誌掲載において特に考慮していない。
- ・英文投稿規程を改訂した。
- ・第47巻の学術集会抄録号について、4号に掲載することとなった。
- ・2010 PSI Publication Committee を開催した。
- ・PSI の購読について、オンライン購読全会員分として1名分€30-として紙媒体の冊子購読を中止することではどうかという提案があることが報告され、継続的に審議することとなった。

#### (2) 国際・広報委員会

岩中理事長より以下の通り報告された。

- ・ホームページの管理会社をメテオから学会支援機構に変更することとなった。
- ・学術先進医療検討委員会からの情報を順次ホームページに掲載している。
- ・ISW については WOFAPS と本学会合同としてシンポジウムを企画している。
- ・国際会議関連の情報を順次ホームページに掲載している。

#### (3) 保険診療委員会

土岐担当理事より以下の通り平成22年度改正要望項目を提出したことが報告された。

- ・改正（検査）：胃・食道内24時間pH測定 点数見直し
- ・新設（手術）：先天性食道狭窄症根治術 保険収載

また、以下の外保連試案術式について本学会で主担当することが報告された。

- ・(1653) リンパ管腫摘出術 1. 長径3cm未満
- ・(1654) リンパ管腫摘出術 1. 長径3cm以上
- ・(1655) リンパ管摘出術 1. 長径3cm未満
- ・(1656) リンパ管摘出術 1. 長径3cm以上

#### (4) 教育委員会

橋本担当理事より以下の通り報告された。

- ・第26回卒後教育セミナーを開催し、出席者は103名（うち4名欠席）であった。
- ・第1回内視鏡手術セミナーを開催し、出席者は124名であった。アンケートを実施し、概ね好評であったことなどが報告された。
- ・マッチングシステムの活用について、より活用されるように研修医が閲覧できるように会員ページから一般ページに掲載ページを変更することが提案された。只今現在のマッチングシステムのあり方と異なってくるため、国際・広報委員会と協議することとなった。
- ・e-learning について、動画を含めたサーバー管理ということについては深慮する必

要があるので、教育委員会、学術先進医療委員会、国際・広報委員会にて継続的に検討されることとなった。なお、Tod Ponsky 先生からの提案についてはより整理された提案が必要であると指摘された。

(5) 悪性腫瘍委員会報告

前田担当理事より、以下の通り報告された。

- ・平成 22 年度第 1 回委員会を開催した。
- ・登録用紙の改訂について、2012 年に収集するデータより新分類を使用することとなった。

(6) 学術・先進医療検討委員会報告

濱田担当理事欠席のため、岩中理事長より研究プロジェクトの内容が順次ホームページに掲載されていることなどが報告された。

(7) 倫理安全委員会報告

蕪澤担当理事より、以下の通り報告された。

- ・倫理安全管理セミナーを開催し、約 70 名が出席した。
- ・懲戒規定に関する規定について提示され、いくつかの訂正が指摘され、次回理事会にて最終案が提示されることとなった。
- ・勤務医の労働状況および女性医師の労働環境の実態の把握を目指して、勤務状況アンケート調査の実施について提案され、施設を通すことは恣意性はあるため会員各位あてとして実施することが推奨された。
- ・日本医学会臨床部会利益相反委員会に出席した。

(8) 小児救急検討委員会報告

上野担当理事より、以下の通り報告された。

- ・平成 22 年度第 1 回委員会を開催した。
- ・第 47 回学術集會に併設して PALS 講習会を開催し、23 名（1 名欠席）の会員が参加し、盛會に完了した。
- ・外科系小児救急患者受け入れ状況のホームページ」情報の更新方法について説明された。
- ・第 48 回学術集會に併設して開催することについて検討され、専門の施設でも開催可能であることなどが指摘され、学術集會終了後の週末に開催する方向で再度検討することとなった。

6) 専門医制度規約改定について

岩中理事長、田口副理事長より、改定案が提示され検討された。年次報告書の提出遅延に際して、現状、月例数に応じて症例数を減ずる規定となっているが、延滞金を課すると訂正することなどが提案され、検討事項を以って専門医制度委員会で検討し、その

検討結果を持ち回り理事会にて検討・承認し機関誌に掲載することが確認された。

7) 評議員選挙管理委員について

小室庶務委員長より、評議員選挙管理委員3名について、慣例により庶務委員長と庶務副委員長が就任すること、後の1名について、川瀬弘一先生（聖マリアンナ医科大学病院西部病院に移植することが提案され、承認された。

8) 評議員選挙の公示およびスケジュールについて

小室庶務委員長より、評議員選挙公示案が提示され、承認された。オンライン投票についても準備できるため検討したが、定款に紙面で投票する旨規定があるため、今回は行わないこととなったことが報告された。

9) 小児がん専門医について

田口副理事長より、日本小児がん学会から提案のあった、小児外科専門医を前提とした小児がん外科専門医を設けることについて説明された。

また、金子監事より、小児がん外科専門医の設立の経緯について、元々小児外科領域が立案したものであり、小児がん外科専門医を作ることは既に承認され、アンケート調査も行ったことなどが説明された。小児外科医に小児がんの専門医が少ない現状や、外科専門医の2階建て部分である小児外科専門医にさらにサブスペシャリティを加える可否についてなど検討された。

次回の小児がん学会の理事会が8月6日に開催されるため、その結果を踏まえて、次回理事会にて再度検討することとなった。

10) データベース委員会報告

前田担当理事より、NCDとの関連で色々なことが決まりつつあり、今後はNCDとの連携や取り込みデータの形式などについて検討される予定であることが報告された。

11) 統合システム委員会

小室庶務委員長より、NCDで使用する外保連術式と小児外科専門医制度の術式の照合などについて作業が進みつつあることが報告され、それによってNCDが振り分けたデータを専門医制度の症例登録に使用することが確認された。

12) 統合調整委員会日程調整

田口委員長より候補日程が提示され、以下のとおりとなった。

2010年9月22日（水）14：00～17：00

2010年12月10日（金）13：00～16：00

2010年2月8日（火）14：00～17：00

2011年4月1日（金）14：00～17：00

検討課題としては、認定登録医・認定医のあり方や専門医制度の点数として認める学

術集会・研究会の基準作成などが指摘された。

以上

理事長 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_

理事 \_\_\_\_\_